

前回定例会（平成 26 年 2 月 5 日）以降の行政の動き

平成 26 年 3 月 5 日
新潟県防災局原子力安全対策課

1. 安全協定に基づく状況確認

2 月 12 日、柏崎市とともに、月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・敷地境界ダストモニタにおける微量な放射性物質検出 現場確認
- ・免震重要棟（S A（シビアアクシデント）時 所員被ばく低減対策）、
高台緊急用資機材倉庫 現場確認

2. 安全管理に関する技術委員会

2 月 11 日、平成 25 年度第 4 回技術委員会を開催しました。

福島第一原子力発電所事故の検証について、3 つの課題別ディスカッションの議論状況を各コアメンバーの委員から説明していただきました。

また、フィルタベント設備の性能面と過酷事故の想定シナリオについて、東京電力から説明を受けるとともに、放射性物質の拡散シミュレーションの計算条件について確認いただきました。

3. 東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、下記のとおり一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

- ・ 2 月 6 日 8,644,568 円（平成 22、23 年度発生経費請求額の一部）
放射能測定経費の一部（空間線量測定経費）
- 累計 532,086,288 円（県請求額 1,614,077,715 円の一部）

4. その他

2 月 6 日：報道発表 [東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました。] 別紙参照

2 月 12 日：報道発表 [原子力災害対策重点区域内に放射線測定器を配備し、関係者向けに講習会を開催します。] 別紙参照

2 月 20 日：報道発表 [東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所構内で採取された大気浮遊じん試料から放射性セシウムが検出されたとの連絡がありました] 別紙参照

東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

1 今回の受領額

8,644,568円 (平成26年2月6日受領)

※平成22,23年度発生経費(一般会計)請求額の一部

2 受領額の内容

放射能測定経費の一部(空間線量測定経費)

3 その他**(1) 請求及び受領の状況**

(単位:円)

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24.12.26 ②H25. 3.29	一般会計	364,724,834	8,644,568	143,058,094	
	①H24.12.26 ②H25. 3.29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24.12.26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,385,920	8,644,568	530,946,513	
H24	H25.12.3	一般会計	270,629,876	-	-	(3)のとおり 請求額変更予定
	H25.10.24	工業用水道	580,922,144	-	-	
	H25.10.24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	852,691,795	-	1,139,775	
		合 計	1,614,077,715	8,644,568	532,086,288	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

(3) 平成24年度発生経費(平成25年12月3日請求・一般会計分)について、東京電力(株)との協議において、人件費(時間外勤務手当分)の一部に重複を確認したため、請求額を270,629,876円から、3,635,512円減額し、266,994,364円とします。

本件についてのお問い合わせ先

放射能対策課長補佐 原 (内線) 6461 (直通) 025-282-1702

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会 (平成 25 年度第 4 回)

会 議 次 第

日 時：平成 26 年 2 月 11 日(火) 13:30～16:30

場 所：新潟県庁西回廊「講堂」

1 開会挨拶

2 議題

(1) 福島第一原子力発電所事故の検証について

- ・福島事故検証課題別ディスカッションの議論の整理

課題 1 地震動による重要機器の影響

課題 5 高線量下の作業

課題 6 シビアアクシデント対策

(2) フィルタベント設備の検証について

- ・フィルタベント設備の性能と過酷事故の想定シナリオ
- ・放射性物質拡散シミュレーション

(3) その他

3 閉会挨拶

[配 付 資 料 一 覧]

資料No. 1	福島事故検証課題別ディスカッション 課題 1 地震動による重要機器の影響
資料No. 2	福島事故検証課題別ディスカッション 課題 5 高線量下の作業
資料No. 3	福島事故検証課題別ディスカッション 課題 6 シビアアクシデント対策
資料No. 4-1	フィルタベント装置の除去性能の整理 (東京電力)
資料No. 4-2	防災において想定する事故シナリオについて (東京電力)
資料No. 4-3	フィルタベント設備に関する確認事項
資料No. 4-4	フィルタベント設備に関する確認事項補足説明資料 (東京電力)
資料No. 5	放射性物質拡散シミュレーションに係るパラメータについて
参考資料	フィルタベント設備の検証の方針について (案) ※前回技術委員会配布資料
そ の 他	福島事故検証課題別ディスカッション配布資料 ※関係者のみ

出席者名簿

区分	職名	氏名	出欠
委員	東京工業大学名誉教授	衣笠 善博	○
	三菱重工業株式会社エネルギー・環境ドメイン原子力事業部 機器設計部マネージングエキスパート	小山 幸司	欠
	京都大学大学院工学研究科教授	杉本 純	○
	日本原子力研究開発機構安全研究センター燃料安全研究グループ常勤嘱託員	鈴木 元衛	○
	放射線医学総合研究所 REMAT 医療室室長	立崎 英夫	○
	新潟大学名誉教授	立石 雅昭	○
	科学ジャーナリスト	田中 三彦	○
	京都大学原子炉実験所原子力基礎工学研究部門教授	中島 健	○
	首都大学東京名誉教授	西川 孝夫	○
	一橋大学名誉教授	野中郁次郎	欠
	東北大学大学院工学研究科教授	橋爪 秀利	○
	新潟工科大学副学長	原 利昭	○
	新潟大学工学部（教育組織）教授、新潟大学可視化情報研究センター（研究組織）センター長 教授	藤澤 延行	○
	長岡技術科学大学副学長	三上 喜貴	○
	首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授	山崎 晴雄	○
	多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英	○
京都大学名誉教授	吉川 榮和	○	

東京 電力	原子力運営管理部長	五十嵐信二	○
	原子力設備管理部長	川村 慎一	○
	柏崎刈羽原子力発電所長	横村 忠幸	○
	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	新井 史朗	○

座 席 表

橋爪委員 西川委員 田中委員 立石委員 立崎委員 鈴木委員 杉本委員 衣笠委員

--	--	--	--

原 委員
藤澤委員
三上委員
山崎委員
山内委員
吉川委員

プロジェクタ

--

スクリーン

--

中島座長

事務局
(局長) (課長)

東京電力(株)

資源エネルギー庁
柏崎市 刈羽村

--

スクリーン

プロジェクタ

傍聴席

傍聴席

報道席

平成26年2月12日
防災局原子力安全対策課**原子力災害対策重点区域内に放射線測定器を配備し、
関係者向けに講習会を開催します。**

県では、原子力災害対策重点区域で身近に放射線を測定できる環境づくりを進めるため、同区域の公共施設等への放射線測定器の配備並びにこれに伴う講習会を実施します。

記

〔講習会について〕

1 開催日時等

放射線測定器を配備した原子力災害対策重点区域（PAZ・UPZ）内で、2月13日から27日までの間に、8回開催。

※取材については、以下のとおりお願いします。

2 対象者

PAZ・UPZを含む市町村の関係職員・教職員等

3 内容

- (1) 放射線の基礎知識
- (2) 放射線測定器（簡易サーベイメータ等）を使用した実習

4 講師

公益財団法人 原子力安全技術センター職員

5 配備する測定器

- (1) 対象市町村 原子力災害対策重点区域（PAZ・UPZ）内の9市町村
- (2) 種別、台数 簡易サーベイメータ：700台 シンチレーション式サーベイメータ：182台
- (3) 配備先 市役所・町村役場 小中学校 教育センター 等

※ 取材について

十日町市で開催される講習会については取材が可能ですので、取材を希望する場合は、2月14日（金）17時15分までに、下記担当まで連絡をお願いいたします。

開催日時：2月19日（水）10:00～12:00

会場：十日町市役所車庫棟2階 大会議室

参加者数：約50名

- 本件についてのお問い合わせ先：原子力安全対策課長 須貝
直通 025-282-1690 内6450
- 取材についての連絡担当：原子力安全対策課 田邊
直通 025-282-1695 内6452

平成26年 2月20日

防 災 局

**東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所構内で採取された大気浮遊じん
試料から放射性セシウムが検出されたとの連絡がありました**

東京電力(株)から、柏崎刈羽原子力発電所構内3地点で平成26年1月の1ヶ月間に採取した大気浮遊じんのうち、1地点から放射性セシウムが0.0000043ベクレル/m³(セシウム134:不検出、セシウム137:0.0000043ベクレル/m³) 検出されたとの連絡がありました。

東京電力(株)では、福島第一原子力発電所の事故由来の影響によるセシウムであると推定しております。

なお、県が柏崎刈羽原子力発電所周辺に設置したモニタリングポストでの空間線量率などの観測値には異常は確認されていません。

本件についてのお問い合わせ先

放射能対策課長 渋谷

(内線) 6 4 6 0

(直通) 0 2 5 - 2 8 2 - 1 6 9 3